

一般質問の質問者順番と質問事項

(令和6年 第2回定例会)

質 問 順 位	6	11番 議 員	大 山 勝 代
質 問 事 項 1	基山町のごみ処理のリサイクル率向上を目指して		
質 問 の 要 旨	ごみ＝廃棄物は、私たちにとって身近な存在だ。基山町は令和4年2月「基山町環境基本計画」を策定した。その第3章第2節で、「廃棄物の減量と適正処理を推進する」（循環型社会）を定め、現状と課題を示している。 各家庭には毎年度、「家庭ごみ・資源物の出し方」のカラーの厚紙のカレンダーが配布されている。町民はそれに基づいて、ごみステーションまで運ぶのが日常の風景だ。しかし、改めて自分は、また町民はごみの減量化について、日ごろ努力をしているのか立ち止まって考えてみたい。		
具体的な質問 及 び 質 問 の 相 手	(1) 熱回収施設・リサイクルセンターの運営を行う筑紫野・小郡・基山清掃施設組合の概要について述べよ	町 長	
	(2) 町はそのための財政を年間でどの程度支出しているか。10年前と令和5年の比較を示せ	町 長	
	(3) 過去5年間の基山町のリサイクル率はどう推移しているか。また目標はどうか	町 長	
	(4) ごみ減量化のための方策は何が最善か	町 長	
	(5) 雑紙回収率を高めるための手立ては何があるか	町 長	
	(6) 今後、町民への啓発はどのように考えているか	町 長	
	(7) 将来的な3R（リデュース・リユース・リサイクル）の在り方を示せ	町 長	